

不良品を『作らない』『出さない』現場をつくる

# 品質管理 実務研修 8 コース

品質管理 実務担当者のための基本と実践



集合型研修  
全8回

※同じ内容、別の日程でライブ配信オンライン型研修もございます。日程等の詳細をご希望の方はお問い合わせください。

日程と各テーマのご案内

品質管理の基本から実践手法まで実務担当者に必須の知識を網羅！

第1回

4月26日(金)

## 『品質管理の基本と問題解決』

品質管理の基本を理解し  
品質管理業務の要諦を学ぶ

第5回

6月26日(水)

## 『ヒューマンエラー対策』

現場で不良品を作らせない  
仕掛けと仕組みづくり、人づくり

第2回

5月15日(水)

## 『QC7つ道具と新QC7つ道具』

品質管理ツールの基本を理解して  
明日から即実践！

第6回

7月17日(水)

## 『作業標準書』

現場ですぐに役立つ作業標準書の  
作成と有効活用法

第3回

5月29日(水)

## 『Excelでデータ活用』

Excelを使って実践する、  
やさしい品質データのまとめ方・使い方

第7回

7月24日(水)

## 『計測管理』

誤差の考え方／校正の勘所をマスターし、  
信頼できる計測を実現しよう

第4回

6月13日(木)

## 『なぜなぜ分析』

源流管理となぜなぜ分析により  
品質不良ゼロを目指す

第8回

8月7日(水)

## 『検査業務』

不良を見つけ出す検査のやり方と  
上手な管理方法

主催 公益社団法人 大阪府工業協会

# 3 Excelを使った品質データ活用

5月29日(水)

午前9時45分～午後4時45分

➤ Excelを使って実践する、やさしい品質データのまとめ方・使い方

## 1 品質管理と品質データ活用の重要性

- (1) 品質管理とは何か再確認
- (2) 事実を正しく把握するためのデータ活用の重要性
- (3) データの種類 “計量値” “計数値”

## 2 データのとり方について考えよう

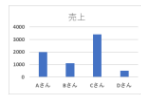
- (1) データをとる目的、はっきりしていますか？
- (2) 5W1H データの素性、はっきりしていますか？
- (3) 数字の羅列であるデータを可視化することがデータ活用である
- (4) 層別によりデータを見やすくする

## 3 グラフを使ってデータ活用

- (1) どのような時にどのようなグラフが効果的か解説します。その後、実際にグラフを作成していただきます。

### <棒グラフ>

主に数量の大きさを比較する。データの大きさが、棒の高低で表され、データの大小を視覚的に比較できます。



### <折れ線グラフ>

主に時系列で数量の変化をみる。データの増減、折れ線グラフの傾きから、変化の大きさが読み取れます。



Excel2016をベースに解説します。PCは当協会では準備いたします。

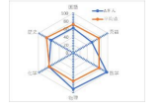
### <円グラフ>

数量の割合をみる。円全体を100%とし、項目ごとにその中に占める割合を扇形で表したグラフです。



### <レーダーチャート>

項目別の評価などを比較する。項目数を円周上に配置し、中心から量の大きさを伸ばしたグラフです。



## 4 代表的な3つのグラフ・図を使いこなせば一人前

- (1) QC7 つ道具のうちでも頻出のパレート図、散布図、ヒストグラムについて基本を解説
- (2) それぞれ何がわかるのか、どのような時に効果的か
- (3) それぞれの作成方法を解説、データを見やすくするコツ
- (4) データ作成後は、データの見方、異常の見つけ方を理解しよう

講師：金原 大介 氏

(株)インテグラ技術研究所 チーフコンサルタント

# 4 品質不良をなくすなぜなぜ分析

6月13日(木)

午前9時45分～午後4時45分

➤ 源流管理となぜなぜ分析により品質不良ゼロを目指す

## 1 品質不良をなくすための“源流管理”

- (1) 源流管理によりプロセス上流で管理する

●ワークショップ●  
重要業績評価指標

- (2) ポカヨケの考え方を理解し、品質を向上させる  
・製造現場で活躍するポカヨケとは？  
①製造現場で活躍するポカヨケとは？  
②不良ゼロの原則 ③ミスの種類  
④ポカヨケ・不良をゼロにするには

## 2 なぜなぜ分析のやり方を身につけよう

- (1) なぜなぜ分析と特性要因図の違い
- (2) 現象の絞り込みを行う

●ワークショップ●  
なぜを追究してみよう

- ①現象を正確に把握する ②事実の現象は1つ
- ③過去の経験は過ちかも ④現象は見える形で
- ⑤言葉を重視する

- (3) なぜなぜ分析の手順と演習

●ワークショップ●  
なぜなぜ分析を実際にやってみよう

- ①品質不良の現象を正確に把握する
- ②なぜなぜ分析の考え方を理解する
- ③なぜなぜ分析のフォーマットを紹介
- ④現象のとらえ方
- ⑤やってはいけない「なぜ」の原則
- ⑥何をOK、何をNGとするのか？
- ⑦再発防止につながる「なぜ」
- ⑧「なぜなぜ」展開の検証

## 3 品質不良改善への実行計画をつくる

- (1) 品質不良改善への実行計画を策定してみよう
- (2) 効果の確認と歯止め

講師：窪津 正充 氏

(くぼつ経営研究所 代表)

化学薬品製造業の22年間で研究開発、技術部、品質保証部などの業務に携わる。その後、コンサルタント会社にて、生産性向上、品質向上、在庫削減、5Sなどのコンサルティングを行う。2018年くぼつ経営研究所を設立、経営改善、業務改善(品質、コスト、5S、多能化等)の指導やセミナーの講師として活躍中。